

1. 総 説

1.1 設置目的

本学では平成16年4月に国際交流推進機構を設立し、担当理事のもとで国際交流協定校を増加させ、また留学生受け入れ数も少ないながら順調に伸ばしてきた。平成27年度で留学生の受け入れ数は210人にのぼり、過去最高となった。国際交流推進機構は平成20年度に国際交流センターとなり、平成23年度以降、日本語教育専任教員3名と、非常勤講師数名の体制で日本語教育事業に従事している。

センターの主な役割としては、留学生に対する日本語教育とともに、①国際戦略の策定、②広報および地域の国際化支援、③留学生支援、④日本人学生の海外留学支援、⑤国際交流教育が挙げられ、大学全体の国際交流がより組織的に、活発に行われるよう、専任教員を中心としてセンターが機能することが期待されている。

1.2 沿 革

平成20年1月	教育研究評議会において学内措置としてセンターの設置が了承
平成20年4月	センター発足 大学本部棟国際交流課にセンター長室を置き、センター長(兼任)、副センター長(兼任)の体制でスタート
平成20年6月	専任教員(准教授)1名採用 教育文化学部内に研究室を借用
平成22年4月	一般教育1号館に移動し、教員研究室2室、多文化交流ラウンジを新設
平成22年8月	専任教員(准教授)1名採用
平成22年9月	センター長室を新設
平成23年4月	専任教員(助教)1名採用 専任教員3名体制
平成25年3月	専任教員(准教授)1名退任
平成25年4月	専任教員(助教)1名採用
平成26年3月	専任教員(准教授)1名、専任教員(助教)1名退任
平成26年4月	専任教員(助教)2名採用 専任教員3名体制
平成30年8月	専任教員(助教)1名退任
平成30年10月	専任教員(助教)1名採用 専任教員3名体制

1.3 国際交流センターの運営組織

組織図

